

# 牧草と園藝



# イタリアンライグラス新品種 「エース」の試験成績（Ⅰ）

千葉研究農場長 兼 子 達 夫

イタリアンライグラスは府県における水田、畑の裏作物として、主要な草種であり、また今春から水田再編利用対策の転換畑において、広く栽培され益々重要性を増しています。耐湿性が強く、作りやすく、転換畑での適草種でありましょう。

しかし、イタリアンライグラスの欠点は、夏枯れを生じやすいことであり、特に普通種(コモン)や早生系の品種は暑さのため枯死状態となります。

晩生系のマンモスAおよびテトリライト(ハイブリッドライグラス)は比較的越夏性が良好で、秋にまた刈取りができ、いわゆる長期利用型品種として好評を得ています。

新品種「エース」は、当研究農場において昭和41年から46年まで、3世代にわたり夏枯れに強い個体の選抜をくり返し、再生旺盛で多収な品種を育成し、マンモスAおよびテトリライトを更に上廻る優良品種であることを確認しました。

「エース」の特性概要は

1. 晩生系4倍体で、茎は太く葉が大きい。
2. 冠サビ病に強く、葉腐病にも比較的強く、越夏性が良好で、また積雪地域における雪腐病にも強い。
3. 初期生育が早く、早春の草勢が旺盛で、再生も良好であり、また越夏後の収量も多く、年間通して多収なので短期利用、長期利用いずれにも適します。
4. 雪腐病に強く、越夏性が良好であることから適応地域は広く、東北地方より九州まで全国的に利用できます。

以上のとおりで、「エース」は田畑の裏作物あるいは、夏型飼料作物との作付組合せとしてだけでなく、イタリアンの周年栽培、特に転換畑での長期利用型品種として特色のある品種と考えられます。

各地における試験場の成績を次に御紹介いたします。

## (一) 中国・四国地方の試験成績

山口県農業試験場・牧草育種研究室(昭52)

項目 月/日	生 育 状 況				乾 物 収 量 (kg/10 a)									
	葉 色 3/24	草 勢 3/24	草 勢 7/29	冠サビ病 6/23	1 11/18	2 3/24	3 4/23	4 5/24	5 6/27	6 7/25	7 9/26	8 11/21	合 計	比 率
エース	濃	良	良	0	249	286	316	233	262	120	86	182	1,734	107%
マンモスA	〃	〃	やや良	1	253	262	321	255	255	81	50	142	1,619	100
マンモスB	淡	〃	不良	4	239	238	263	277	251	27	—	—	1,295	80
ヒタチアオバ	濃	〃	〃	4	260	262	282	258	244	34	—	—	1,340	83
ナスヒカリ	極淡	〃	中	0	213	254	292	277	258	85	46	138	1,563	97
ヤマアオバ	淡	〃	不良	2	256	289	232	265	234	38	—	—	1,314	81

注) 冠サビ病：：0(無)～5(甚)

播種期：昭和51年9月16日

反覆数：4

香川県農業試験場(昭52)

項目 月/日	生 育 状 況		乾 物 収 量 (kg/10 a)									
	冠サビ病 7/上	夏枯れ 8/中	1 2/23	2 3/28	3 4/26	4 5/23	5 6/13	6 7/4	7 10/6	8 11/15	合 計	比 率
エース	1.0	3.5	404	341	427	353	235	231	204	286	2,481	108
マンモスA	1.5	4.0	361	321	433	377	235	216	144	219	2,306	100
マンモスB	2.8	5.0	361	307	371	384	233	189	—	—	1,845	80
ヒタチアオバ	3.0	4.8	368	311	413	368	211	179	—	—	1,850	80
ナスヒカリ	1.8	4.5	323	319	363	375	235	213	128	184	2,140	93
ヤマアオバ	2.8	4.5	381	334	332	393	189	167	—	—	1,796	78

注) 播種期：昭和51年10月7日

冠サビ病、夏枯れ：1(微)～5(甚)

反覆数：4